

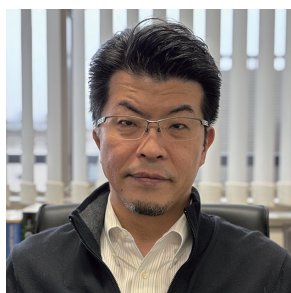
研究力強化に向けた取り組み ① 卓越研究グループ支援事業

概要

本学の複数研究科の研究者で組成される、卓越のかつ独創的な優れたアイデアで学際的研究分野を開拓し、さらに国際的な連携で研究を推進していくグループに対し、研究力の強化や次世代の研究者の育成を進め、新たな価値やイノベーションを生み出す研究拠点としての地位を築き、世界トップレベルの研究大学を実現するための活動を3年度にわたって支援する事業です。

令和7年度第1回公募では、医学研究科の**田口歩**教授を代表とするグループが採択されました！

次世代がん医療を創成する先駆的トランスレーショナルリサーチ拠点



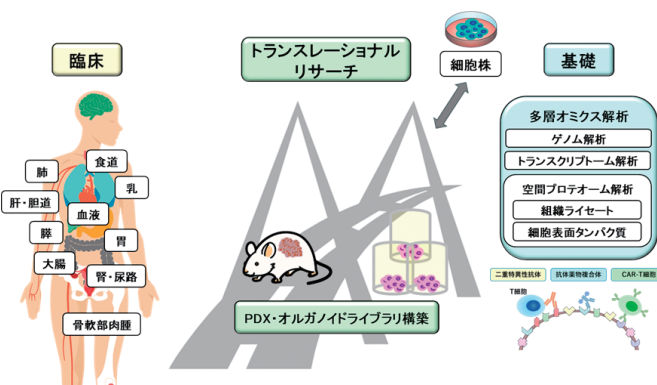
医学研究科
分子腫瘍学分野
教授 田口 歩

令和7年度「卓越研究グループ支援事業」に採択いただき、大変光栄であるとともに、身の引き締まる思いです。名市大から発信する研究を世界に届けたい、その期待と責任を改めて感じています。

私たちが構築する「がんTR拠点」では、臨床検体から作られる患者腫瘍移植モデル(PDX)やオルガノイドを活用して、ゲノム・トランスクリプトーム・空間プロテオームを含む多層オミクス解析を推進し、難治がんの新たな治療標的探索や耐性機序の解明に挑みます。研究期間内に200例のPDX作製と100例のオルガノイド樹立を目標にするとともに、多層オミクスデータの解析を支えるソフトウェアを整備し、若手臨床医や大学院生が自由に研究に挑戦できる土台づくりも本拠点の大きな柱としています。

将来的には、詳細な臨床情報や多層オミクスデータを統合したPDX・オルガノイドライブラリの整備によって、薬効薬理試験からコンパニオン診断薬の開発まで一気通貫に推進できる創薬プラットフォームを構築します。これにより、基礎から臨床までをシームレスにつなぎ、名市大発の研究成果の社会実装を加速させ、確実に患者さんへと還元していきます。

また、今後「がんTR拠点シンポジウム」の開催も予定しており、がん研究に携わる基礎医学者から臨床医まで、幅広く交流と議論の場をさらに広げていきますので、学内の皆さま、特に若手研究者の方には、臨床検体やデータの提供だけでなく、がんTR拠点への積極的な参加をぜひお願いしたいと思います。こうした研究活動の広がりを通じて、名市大ならではの強みを発信し、国際的にも存在感を持つ拠点へと成長させていきます。引き続き皆さまの温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



がんの本態解明から創薬までシームレスにつなぎ、
がんTRを爆発的に加速させる拠点の形成

研究力強化に向けた取り組み ② 国際的な共同研究推進のための派遣・招へい支援プログラム

概要

本学の国際ネットワークを強化し、国際共同研究を活性化することを目的として、国際的な共同研究等を実施する教員等を海外の大学等研究機関へ派遣するための経費及び海外の大学等の研究者を招へいするための経費を支援する事業です。

令和7年度第1期募集では、以下の研究者の派遣・招へいを支援

研究科	申請者	対象大学	派遣・招へい対象者
医学研究科	橋谷 光 教授	オックスフォード大学(イギリス)	Paolo Tammara 教授(招へい)
薬学研究科	山村 寿男 教授	カルガリー大学(カナダ)	鈴木 良明 講師(派遣)
経済学研究科	坂和 秀晃 准教授	ウーロンゴン大学(オーストラリア)	坂和 秀晃 准教授(派遣)
理学研究科	熊澤 慶伯 教授	ブラヴィジャヤ大学(インドネシア)	Wahyu Endra Kusuma Assistant Profesor(招へい)
		カセサート大学(タイ)	Sahat Ratmuangkhwang Senior Researcher(招へい)

研究力強化に向けた取り組み ③ 令和7年度研究成果顕彰

概要

論文の引用評価指標で顕著な業績を収めた者に対して表彰を行うことにより、本学の学術研究の進展を図る制度です。

①卓越論文の表彰：学術雑誌の評価指標であるCiteScoreが上位の論文に対し、研究奨励費※を配分
責任著者枠CiteScoreの値×**3万円**、共著者枠CiteScoreの値×**1万円**

②国際共著論文の表彰：国際共著論文の執筆者に対し、研究奨励費※を配分 責任著者枠**10万円**、共著者枠**5万円** ※上限等制有限

令和7年度は表彰件数(延べ)**354件** 総額**約2,700万円**の研究奨励費を配分

①卓越論文の表彰

所属	表彰件数(延べ)			配分額(円)
	責任著者枠	共著者枠	合計	
医学研究科	53	11	64	11,348,000
医学部リハビリテーション学専攻	2	0	2	798,000
薬学研究科	4	0	4	1,107,000
理学研究科	2	1	3	1,906,000
データサイエンス研究科	0	1	1	263,000
総計	61	13	74	15,422,000

最も多い方には、①②合計で**約200万円**の研究奨励費を配分しました

②国際共著論文の表彰

所属	表彰件数(延べ)			配分額(円)
	責任著者枠	共著者枠	合計	
医学研究科	85	132	218	8,420,000
薬学研究科	15	9	24	935,000
経済学研究科	2	0	2	100,000
芸術工学研究科	3	3	6	450,000
看護学研究科	2	2	4	200,000
理学研究科	6	7	13	745,000
データサイエンス研究科	6	6	12	900,000
なごや先端研究開発センター	0	2	2	100,000
総計	119	161	280	11,850,000

表彰者にインタビュー

①卓越論文の表彰



医学部保健医療学科
リハビリテーション学専攻
講師 竹中 菜々

この度は研究成果顕彰をいただき大変光栄に思います。これまで難治性筋疾患に対する新たな治療法の確立を目指した研究を進めてまいりました。今後もより良い研究成果を社会に還元できるよう精進してまいります。



理学研究科
准教授 秦 和弘

この度は卓越論文表彰をいただき大変光栄に思います。近年は出版費の高騰など研究成果の創出に多額の費用がかかる中、こうした顕彰制度は大きな励みになります。頂いたご支援は研究の更なる発展に活かしてまいります。

②国際共著論文の表彰



医学研究科
整形外科学分野
助教 相羽 久輝

この度は、国際共著論文の表彰を賜り、誠にありがたく存じます。以前留学していたイタリアとの共同臨床研究が実を結んだ結果と感じております。今後もさらに成果を挙げられるよう、努力を重ねて参りたい所存です。



データサイエンス研究科
教授 能勢 正仁

国際共同研究の良いところは、異なるバックグラウンドを持った研究者たちと議論して、新しいアイデアや刺激を受けられることやいろいろな場所を訪問できることです。今後も国際共同研究を推進し、インパクトのある研究成果を出せるように研究に取り組んでいきたいと思います。

公募状況

Check!!

対象者	事業内容	募集期間	掲載
教員	研究代表者に対する人件費支援事業 新たに雇用する特任助教の 人件費の7分の5を上限 に支援します。	9月～11月 (R8年度4月、5月採用分)	学内イントラ > 研究・産学官連携 > 各種研究費
教員	国際的な共同研究推進のための派遣・招へい支援プログラム 国際的な共同研究等を実施する教員等の海外派遣および海外大学等の研究者招へいに関して、 上限100万円 を支援します。	11月1日～12月15日 (R8年度分)	学内イントラ > 研究・産学官連携 > 各種研究費
教員	研究支援員制度の拡充 出産、育児、介護等により研究時間の限られた研究者の研究活動を維持・促進することを目的として、研究補助や事務補助を行う 研究支援員 を配置します。	12月～1月予定 (R8年度分)	本学HP ホーム > ダイバーシティ > ダイバーシティの推進にむけて > 研究支援員制度
臨床研究を行う方	附属病院群の特色ある取組み支援 各病院(市大病院を除く)の特色ある取組みの実施にかかる経費(最大1,000万円/件)を支援します。	9月～10月 (R8年度分)	市大病院HP ホーム > 診療科・中央部門紹介 > 中央部門 > 臨床研究戦略部

公募要項等をよくご確認ください。